

事務事業 No./名称	<input type="checkbox"/> サービス部門 <input checked="" type="checkbox"/> 支援部門 経企-09 広報事業									
主管課	秘書広報課	関連課								
分野名	市民参画・協働の推進									
目標 (目標値)	広報活動の充実									
人口等のデータ	データ区分	25年度	24年度	23年度	備考					
	人口	177,895人	177,224人	177,204人	・各年4月1日 (住民基本台帳)					
	世帯数	80,295世帯	79,669世帯	79,217世帯						
	事業の対象者数									
運営資源状況	決算値(千円)	68,312	71,983	81,435	・広告料収入 ・市町村振興協会 交付金					
	(国・県)									
	(負担金等)	6,223	5,143	4,367						
	(一般財源)	62,089	66,840	77,068						
	人員配置数	5.0人	5.0人	5.0人						
	人件費(千円)	39,064	40,436	43,339						
	協働のパートナー	点訳赤十字奉仕団、朗読録音奉仕会 市民チャンネルボランティア鎌倉	点訳赤十字奉仕団、朗読録音奉仕会 市民チャンネルボランティア鎌倉	点訳赤十字奉仕団、朗読録音奉仕会 市民チャンネルボランティア鎌倉						
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	107,376	112,419	124,774						
	市民1人当りの経費(円)	604	634	704						
	対象者1人当りの経費(円)									
ベンチマーク(県内 外自治体や民間団体 との比較値)	団体名→	鎌倉市	横須賀市	平塚市	藤沢市	茅ヶ崎市	伊勢原市	逗子市	大和市	小田原市
	広報紙頁数タフroid版	8	12・16	8	4・12・14	8	4・8	—	—	—
	広報紙頁数A4版	—	—	—	—	—	—	24	16・20・24	16・24
	月発行回数	2	1	2	2	2	2	1	2	2
指標	評価	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	最終年度(27年度)			
市ホームページに対する評価(必要な情報を入手できているかのアンケート指標)	◎	目標値	59%	60%	63%	66%	66%			
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値	61.5%	62.6%	65.1%	66.3%				

中事業に含まれる小事業の方向性(⇒個別事業の概要は裏面) (千円)

H25小事業名	H25決算値	H26小事業名	H26予算額	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止						
広報事業	1,266	広報事業	71,350	今後の方向性	B	理由・手法	SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)などの更なる活用と、誰もが閲覧しやすい、使いやすいホームページになるよう、各コンテンツの改修・更新を行う。 (初期費用などが不要なSNSなどの活用やホームページ管理システムのサーバ構成の見直しなど、財源が不要な手法やコスト削減により実施する)			
印刷広報事業	39,990			今後の方向性	B	理由・手法				
視聴覚広報事業	27,056			今後の方向性	A	理由・手法				
				今後の方向性		理由・手法				
				今後の方向性		理由・手法				

中事業の評価(事務事業の課題、取組状況、今後の方向性)

H25年度の課題	ホームページは、誰もが閲覧しやすく、使いやすいものとなるよう、関連部署と連携を図りコンテンツの見直しを図る必要がある												
課題解決のための取組	視覚障害者などを含めた誰もが利用しやすいホームページとなるよう、ウェブアクセシビリティに関する基本方針を策定した。また、SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)の急速な普及に伴い、ツイッターやフェイスブックによる情報発信に加え、LINEの活用・実施に向けて検討を行った。							取組の結果	<input checked="" type="checkbox"/> 解決 <input type="checkbox"/> 未解決				
未解決の課題	ウェブアクセシビリティに関する基本方針に基づき、各部署に趣旨などを周知し、ホームページ内のアクセシビリティの向上を図る必要がある。												
中事業の評価	適切=○要改善=△(2面「評価の視点」を参照)				➡	①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	○
今後の方向性 (課題解決に向けた取組・H26予算への反映)	ホームページは、引き続きユーザーである市民の方が見て、より分かり易く、見やすいように時代に即した改修を行う。さまざまなメディアを活用して情報提供している中で、情報をより入手しやすくするとともに、各メディアの特性を生かした情報発信を行っていく。また、広報かまぐらは、発行回数、配送方法、掲載情報などについて、アンケートなどにより今後の事業のあり方を検討していく。							A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止 ➡ B					
※□事業完了													

評価者名 秘書広報課担当課長 馬場 伸一

